

# 図書館だより 6月号

2022年6月16日発行  
阿波高校図書委員会

今月は3年生の図書委員さんが4冊の本を紹介してくれています。  
皆さんの愛読書となるでしょうか？  
梅雨入りしましたね……。  
部屋で落ち着いて読書とかどうですか？



## ○31HR 図書委員佐藤のオススメ！

『 何者 』

朝井 リョウ 著

この本は就職活動を目前に控えた5人の学生たちの話です。表面的には協力し支え合いながらも、本音を隠し、内心ではお互いへの軽蔑や嫉妬がだんだんと膨らんでいく、そんな彼らの心の闇が描かれています。そんな中、主人公拓人のSNSの投稿により、仲間は拓人の心の内側を知ることになります。言葉を発するよりも簡単に、SNSで自分の思いを発信できるようになった現在、高校生という「大人」を目前とした皆さんにこの本を読んでもらいたいと思いました。

どうしてこんなにも自分をさらけ出すことが難しいと感じるような社会になってしまったのか。また、本当の自分とは一体何者なのか。すごく考えさせられました。きっと他人事とは思えず、身近なことに感じると思うので、ぜひ読んでください。



## ○31HR 図書委員小澤のオススメ！

『 かがみの孤城 』

辻村 深月 著

7人の中学生が出てくる、鏡の中のお城での不思議な物語です。この7人の中学生応援したくなるようなお話で、とても面白いです。ぜひ読んでください。

## ○33HR 図書委員榎納のオススメ！

『 十角館の殺人 』

綾辻 行人 著

作家綾辻行人さんのデビュー作品であり、館シリーズの第一作となる長編推理小説。

大学ミステリ研に所属する7人は、孤島に建つ、奇妙な十角形の館を訪れた。近くの青屋敷では館を建てた建築家が半年前に焼死したという。やがて学生たちを襲う連続殺人事件……。

1つの物語が、2つの場所、そしてあらゆる人物の視点から語られ、深く、深く、ミステリの謎を追っていく……。

刊行以来多くの読者に衝撃を与え続けた新本格推理小説の世界をぜひ楽しんでください。



## ○33HR 図書委員瀬野のオススメ！

『 その日、朱音は空を飛んだ 』

武田 綾乃 著

この小説は1人の女子高生「朱音」の死をきっかけに、校内の人間関係が暴かれていく物語です。

立場の異なる7人が事件について語り、すべての謎が明らかになっていきます。交友関係の中での嫉妬やスクールカーストなどがリアルに描かれていて、きっと登場人物の誰かしらに共感できると思います。ミステリを普段読まない人にもオススメの青春群像劇です。図書館にはありませんが、気になった人は、ぜひ読んでみてください。



読書感想文の課題図書が入ってます！

見に来てくださいね。

それでは、また7月号でお目にかかりましょう！



